

17

双極性障害と妊娠：早めに聞いておきたいこと

避妊、妊娠、産後、授乳やミルク、そして遺伝について、質問と、誰が答えを持っているかと、急ぎのルートを用意しておきます。時間に追われて話す内容が決まってしまう前に。

レッスン 17 / 全24回



このレッスンの動画を見る
bipolarclarity.com/ja/program/l17

印刷して、書き込んで、手元に置いてください。

bipolarclarity.com/ja/

これは全24レッスンのうちの1回です

Bipolar Stability Programは、すでに双極性障害の診断を受けている人のための、無料の24レッスンです。各レッスンに動画が1本、そしてそれに対応する紙がこの章です。15言語、メールアドレス不要、アカウント不要、有料版はありません。

始める前に

ここで、薬を始める・やめる・減らす・再開する・選ぶ・変えるように言われることは決してありません。空欄のままで構いませんし、「まだわからない」も答えのひとつです。合格も不合格もありません。ほかのレッスンに送られるときは、番号を角かっこで示します。お住まいの国の危機時の連絡先は、この章の最後にあります。

これが存在する理由

私が双極性障害と診断されたのは2018年です。最初のエピソードは1993年でした。名前のついているものと、それを誰にも告げられないまま25年間暮らしていたことになります。

そのあと、私は運に恵まれました。家の近くの病院に心理教育のグループがあったのです。精神科医が一人、心理士が一人、そしてテーブルを囲む10人ほど。週に1回、14か月。そこで誰かに何をすべきか指図されることはありませんでした。これが何なのかを説明してもらったのです。そして私に残ったのは、個々の知識ではありませんでした。誰かがその知識を順番に並べてくれたということです。私は25年かけて断片を集めてきました。あの部屋で初めて、それが一続きのものになりました。

あの部屋には、ほとんど誰もたどり着けません。私の場合は、臨床の専門家が二人、グループ、順番待ちの列、そして1年のあいだ毎週通えるくらい近いこと。それだけの条件が要りました。さらに、数千ドルかかりました。

だから私は、今夜からどこにいても始められるものとして、それを組み直しました。15言語で、無料で、いまも、これからも。お試し版でも、見本でもありません。有料版のために取ってある内容もありません。

— René, Bipolar Clarity

24章そろって初めてできること

どの章も、同じ一つの書類の一部を書いています。レッスン1であなたの安全のページを始め、4で最初の警告サインに名前をつけ、19ではそれを段階のはしごに変えて、各段に行動と連絡先を置きます。そして24で、そのすべてを**安定プラン**にまとめます。調子の悪い日に誰かに手渡せるもの、あるいは言葉が出てこないときに診察へ持っていけるものです。

1章だけなら、1ページが手に入ります。24章そろうと、プランが手に入ります。

24のレッスン

この章は単独でもできます。そう書いてあります。番号はおすすめの順番であって、決まりではありません。

01	双極性障害と診断されたばかり？ まずこの1枚を書く	
02	双極性障害とは何か（そして何ではないか）	
03	双極性障害と睡眠：同じ寝不足、3つの違う意味	
04	双極性障害の初期サイン：自分に合う4つを選ぶ	
05	双極性障害の薬は、何のためにあるのか	
06	双極性障害のライフチャート：これまでの経過を1枚に	
07	双極性障害 1型と2型：その数字が本当に意味すること	
08	双極性障害の軽躁：本人より先に周りが気づくサイン	
09	躁とうつが同時に？ 双極性障害の混合性の特徴	
10	双極性障害？ それとも甲状腺・トラウマ・ADHD？	
11	双極性障害とアルコール・大麻：何を見ておくか	
12	双極性障害の引き金：何が負担になり、何が支えになるか	
13	双極性障害の診察：短い時間を生かすコツ	
14	元気なのに、なぜまだ双極性障害の薬を？	
15	双極性障害の薬の副作用：記録すること、連絡する目安	
16	双極性障害の薬をやめたいと思ったら：まずここから	
17	双極性障害と妊娠：早めに聞いておきたいこと	いまここ
18	双極性障害に心理療法は効くのか：研究でわかっていること	
19	双極性障害の警告サイン：小さな変化から緊急時まで	
20	双極性障害のクライシスプラン：必要になる前に書く	
21	双極性障害のエピソードが始まったかも：いま何をするか	
22	双極性障害と生活リズム：続けられる形の作り方	
23	双極性障害のエピソードのあと：仕事・お金・人間関係	
24	双極性障害とアイデンティティ：以前の自分を失った悲しみ	



レッスン1から始める
bipolarclarity.com/ja/program/
l01



24回分を一冊で
bipolarclarity.com/ja/workbook

このページで何をするか

避妊、妊娠、産後、授乳やミルク、そして遺伝について、質問と、誰が答えを持っているかと、急ぎのルートを用意しておきます。時間に追われて話す内容が決まってしまう前に。

このページを終えると手元に残るもの — 自分に当てはまる質問、それぞれの答えを持っている人、そして出産の前から用意されている産後のルート。

この章の内容

この章は動画レッスン17と一緒に使います。手を動かすほうの半分です。教えるのは動画で、この質問セットは自分で書く場所です。誰かに必要になるずっと前に書いておくために作られています。

質問を、自分より先に届けておきます。 妊娠や出産に関わるケアは、双極性障害の治療の中でも、時間に追われながら決まることがとくに多い場面です。そして時間に追われると、話せる範囲がせまくなります。早めに用意することは、妊娠を計画することではありません。急を要する日に初めてその話をする、という状況を避けるということです。

自分に当てはまる項目だけ書いてください。 避妊、妊娠の前、妊娠中、出産と産後、授乳やミルク、そして遺伝。どれが自分のものかを決めるのは、あなたの体、あなたの治療、あなたの立場、そしてあなたの選択です。空欄のままの項目も正しい答えです。正確な質問が1つあるほうが、埋まって見えるだけのページより価値があります。

相互作用には、主語と向きが要ります。 「この2つは相互作用します」では使えません。ホルモンを使う避妊の方法が、ある薬の効き方を変えることがあります。逆に、ある薬が、ホルモンを使う避妊の方法の効果を下げることがあります。これは別々の文で、答えも別々です。そして、記憶の中でも、翻訳の中でも、しょっちゅう向きが逆になります。どちらがどちらに影響するのかを、その薬とその方法について、はっきり書いてください。

産後は、それだけで1つの時期です。そして、出産の前に書いておくルートが要ります。 連絡先は誰か。計画を知っていて、見張り役にならずに急な変化に気づける人は誰か。守られた睡眠と、夜の実際的な支えを、どうやって成り立たせるのか。そして、出産のあとに急なひどい混乱、現実との接触が失われること、症状が急速に強まるのが起きたときの、急ぎのルート。産後は、そこから計画を始める時期ではないからです。

授乳やミルクの選び方は、一人ひとりに合わせるケアであって、道徳の試験ではありません。 そして遺伝は、話し合いの材料にはなりますが、子どものことを予言はしません。家族の中の経過は問いを立てるものであって、結果を計算するものではありません。

ここで大事なこと

1. 自分の体、治療、立場、選択に当てはまる項目だけを書いてください。
2. 相互作用には、主語と向きをはっきり書きます。
3. 妊娠についての決定は、いくつものことを同時に天秤にかけます。その薬についての根拠、治療から得られていること、そして体調を崩すことの危険です。
4. 産後は別の時期です。そこに関わる人、睡眠の支え、急ぎのルートを、出産の前に書いておく必要があります。

5. 授乳やミルクの選び方は、一人ひとりに合わせるケアであって、道徳の試験ではありません。
6. 双極性障害の遺伝は複雑です。家族の中の経過は問いの材料であって、予測ではありません。

先に動画を見る

動画に属するものが2つあります。

- ・実際にある相互作用を、向きをはっきりさせて示します。そして、その向きを逆に覚えていたときに何が起きるか。それが、病気が戻ってきたように見えてしまうことも含めて。
- ・出産のあとの時期が、なぜいちばん計画から抜け落ちるのか。そして、そのルートを決めるとは、実際に何をすることなのか。

どれか1つを書き込む前に見てください。動画レッスンは 双極性障害と妊娠：早めに聞いておきたいこと – Bipolar Stability Programのレッスン17です。

始める前に

差し迫った危険があるかもしれないときは、お住まいの地域の緊急通報番号に今すぐ電話してください。お住まいの国の危機支援については bipolarclarity.com/ja/gethelp へ。または、この冊子の最後にある国・地域別の危機時の連絡先を見てください。

このProgramが、薬を始める・やめる・減らす・再開する・選ぶ・変えるように言うことは決してありません。

この質問セットが、避妊の方法、妊娠中の治療、授乳やミルクの選び方、薬の変更を選ぶことはありません。妊娠の可能性があるとき、妊娠を考えているとき、妊娠がわかったときは、処方している人と、妊娠のケアに関わるチームに連絡して、その薬についての助言を受けてください。このページを、治療を変える根拠にしないでください。

17

産後の緊急のルート

出産のあとに、急なひどい混乱、現実との接触が失われること、幻覚、事実でないことを確信すること、あるいは躁や精神病症状が急速に強まるのが起きたときは、医学的な緊急事態です。お住まいの地域の緊急サービスか、周産期の急ぎのルートに、いま連絡してください。定期の予約を待たないでください。冊子を先に書き終えないでください。

あなたが冊子に書いた答えは、Bipolar Clarityに送信されることも、アップロードされることも、集められることも、見張られることもありません。

いつでも使える答え:

- ・まだわからない
- ・答えたくない

- ここに書くことはない
- これは書かずにおく
- これは専門家と話したい

この章の主張がどこから来ているか。このレッスンの臨床的な記述には出典があり、その出典は公開されています：bipolarclarity.com/ja/program/sources のレッスン17。出典は、公表されている指針が何と言っているかを示します。あなたに何が当てはまるかは示しませんし、あなたの状態を知っている医療者の判断を覆すこともありません。

基本のルート

自分に当てはまる項目だけです。避妊、妊娠、産後、授乳やミルク、遺伝は、それぞれ別の質問です。たいていの人に必要なのは、そのうち1つか2つです。残りは空欄のままでよく、それでもこのページは終わったものとして数えます。義務で埋めたページより、正確な質問が1つあるほうが、ここでは価値があります。

いまの自分の状況

- | | | | |
|---|--|---|---|
| ☐ 妊娠する可能性がある | ☐ 妊娠を計画している | ☐ いま妊娠している | ☐ 出産や産後に備えている |
| ☐ いま産後である | ☐ 避妊を考えている、または使っている | ☐ 自分の精子でパートナーが妊娠する可能性がある | ☐ 授乳やミルクについての質問が自分に当てはまる |
| ☐ 遺伝についての質問が自分に当てはまる | ☐ ここに書くことはない | ☐ 答えたくない | |

いつのことか

いまのことか、これから何かを変える前のことか、妊娠のある時期のことか、出産の前か、出産のあとか、まだ時期が決まっていないのかを書いてください。質問は、決める日よりずっと前から役に立ちます。

確認できた治療の情報の出どころ

見直すべき、確認できた薬の一覧か、医療者の記録を書いてください。記憶から量を組み立て直したり、処方箋の画像をこのシートに写したりしないでください。

避妊と相互作用についての質問

両方の向きを、はっきり書いてください:

この避妊の方法が、私の一覧にあるどれかの薬の、体の中での量や効き方を変えることはありますか。

私の一覧にあるどれかの薬が、この避妊の方法の効果を下げることはありますか。

そして: それぞれの答えを裏づけているのは、いまのどの製品情報、あるいはどの専門的な出どころですか。

避妊と相互作用についての質問

妊娠の前と妊娠中についての質問

見てほしいことを書いてください。治療から得られていること、その薬についての妊娠に関する根拠、体調を崩すことの危険、経過の見方、からだの健康に必要なこと、産科との連携、思いがけず妊娠がわかったときの連絡のルート、そのほかの心配ごと。

妊娠についての質問

誰が何を担当するか

精神科の処方、妊娠のケア、かかりつけの医療、薬についての助言、赤ちゃんについての質問を、それぞれ誰が担当するかを書いてください。1人が複数を担当することもあります。当て推量ではなく **担当はまだ決まっていない** を使ってください。

誰に、どこまで伝えてよいか

パートナー、家族、友人が関わることもあります。それを決めるのはあなたで、全部か何かではありません。ある部分には入ってもらい、別の部分には入らないでもらう、ことができます。

入ってもらいたい人だけを書いて、その人ごとに、してほしい役割と、守ってほしい線を書いてください。「診察には一緒に来るが、このページは読まない」は線です。「入院したら連絡してよい」も線です。このページに書かなかった人は、書かれないままです。

誰に、何について伝えてよいか

書かずにおくこと、自分の中にとどめること

ここに書いたものは法的な書類ではありませんし、名前を書いても、その人に通知が行くことはありません。家の中に危険がある状況のときは、この冊子の最後にある危機時の連絡先に、そのための別の項目があります。

産後の急ぎのルート

確認できた、周産期の急ぎのルートか緊急のルート、その控えを誰が持っているか、そして出産のあとどこに置いておけば手が届くかを書いてください。この項目が記録するのはルートです。症状を診断することはありません。

産後の睡眠と、実際の支えについての質問

守られた睡眠、夜の支え、授乳やミルクの段取り、そして専門家による早い時期の見守りを、どう計画するのかを聞いてください。支える人ひとりに、終わりのない見張り役を負わせない形で。

授乳やミルクについての質問

その薬、赤ちゃんの健康、あなたの心とからだの健康、必要な睡眠、経過の見方、受けられる専門的な支えに、どの選択肢が合うのかを聞いてください。どの選択肢にも、道徳的な順位をつけないでください。

遺伝についての質問

家族の中の経過、複雑な遺伝の関わり方、予測できることの限界、そして遺伝カウンセリングが受けられるのか、役に立つのかについて、説明してほしいことを書いてください。この冊子に確率を求めないでください。

任意の、専門家への質問

このページに、専門家への質問は必須ではありません。あったほうが助かるときは、こう書いてください：

いまの私の治療に、妊娠や避妊についてのどの質問が当てはまるのか、それぞれの答えを持っているのは誰なのか、そして妊娠・出産・産後・授乳やミルク・急な変化について、すでに用意しておくべき計画は何かを、一緒に見ていただけますか。

このページの状態

ちょうど1つ選んでください: **使える状態**、**情報待ち**、**これは書かずにおく**。

使える状態 を選ぶのは、外に左右されない質問か、名前のついたルートが少なくとも1つ書けているときだけです。次の一步が、専門家の返事、担当を決めること、確認できたルートしだい
のときは **情報待ち** を選んでください。細かいことをよそに残しておくとしたときは **これは書かずにおく** を選びます。

☐ 使える状態

☐ 情報待ち

☐ これは書かずにおく

力が出ない日のルート

2行だけ書き写してください。ルートはそれで全部です。

1. 時間に追われる前に答えがほしい、妊娠や避妊についての質問は: [ここに書く]
2. それを聞く相手は、そして妊娠が当てはまる場合の産後の急ぎのルートは: [ここに書く]

時間に追われる前に答えがほしい質問

聞く相手と、ルート

この2行で、ルートは完成しています。ここでやめてかまいません。

記入例（架空の人物）

Sofiaは架空の人物です。

- **いまの自分の状況:** いまは避妊を考えていて、この先の妊娠の可能性もある。
- **いつのことか:** 避妊の見直しは今月。妊娠は時期が決まっていない。
- **確認できた治療の情報の出どころ:** 処方している診療所の患者向けの窓口にある、確認ずみの一覧。
- **避妊と相互作用についての質問:** この方法が、どれかの薬の体の中での量を変えることはありますか。逆に、どれかの薬がこの方法の効果を下げることはありますか。それぞれの向きを裏づけているのは、どの出どころですか。
- **妊娠についての質問:** いまの治療から得られていること、その薬についての根拠、経過の見方、そして思いがけず陽性が出たあとにどうするか。
- **誰が何を担当するか:** 処方している人は決まっている。妊娠のケアと周産期の担当は、これから決まる。
- **産後の急ぎのルート:** 地域の周産期のサービスの情報を待っている。

- **産後の睡眠と、実際の支えについての質問:** 守られた睡眠、早い時期の見守り、夜の実際的な支えを、出産の前に誰が計画するのかを聞く。
- **授乳やミルクについての質問:** 選択肢に順位をつけずに、薬・赤ちゃん・睡眠に合わせた見直しを頼む。
- **遺伝についての質問:** 複雑な遺伝とはどういうことか、そして一人の子どもについて予測できないことは何かを聞く。
- **このページの状態: 使える状態。**

Sofiaのページは、つながりのある質問を用意しているだけです。避妊も、妊娠中の治療も、薬も、授乳やミルクも、決めていません。

このページを閉じる前に

任意で、あなただけのものです。送信も、アップロードも、収集も、監視もされません。

自分の質問から抜けていた時期はどれですか。

担当がまだ決まっていない役割はどれですか。

その薬について確認できた出どころが要る答えは、どれですか。

書いたものの行き先

この質問セットは、薬についての質問ページ(レッスン 5)とそのv2(レッスン 14)、副作用と経過の確認シート(レッスン 15)、やめるかどうかを整理するワークシート(レッスン 16)と並べて**セクション5－わたしの治療**に入れてください。

移すのは、これだけです。

- いま当てはまる質問。
- 名前のついた専門家の役割と、確認できている連絡のルート。
- 妊娠が当てはまる場合の、産後の急ぎのルートと、支えについての質問。
- 合意できた答えと、その出どころ、そして見直しの時期。

このページが、前のどのページの代わりになることもありません。妊娠や避妊についての枝は、ここで閉じます。警告サインのはしご(レッスン 19)が全体の警告のはしごを、危機対応の下書き(レッスン 20)が危機対応の計画を組み立てます。このワークシートが運ぶのは、妊娠と産後についての質問と、急ぎのルートだけです。

プライバシーと安全

- あなたが冊子に書いた答えは、Bipolar Clarityに送信されることも、アップロードされることも、集められることも、見張られることもありません。
- このProgramが、薬を始める・やめる・減らす・再開する・選ぶ・変えるように言うことは決してありません。
- この冊子が、避妊の方法、妊娠中の治療、授乳やミルクの選び方、遺伝の検査を選ぶことはありません。
- 相互作用の記録には、必ず主語、影響の向き、その方法や薬の正確な名前、そして出どころを書きます。
- 国ごとの規制上の決まりは、いまの地域の情報で確かめる必要があります。
- 出産のあとの急なひどい混乱、現実との接触が失われること、躁や精神病症状が急速に強まることには、いま緊急のルートを使います。
- 授乳やミルクの選択肢は、どれも同じだけ尊重され、薬・赤ちゃん・健康についての根拠に照らして見直されます。
- 処方箋の画像、遺伝の検査の結果、口座の情報、暗証番号、必要のない個人情報は、このページに書かないでください。
- 冊子を書き終えることが、急ぎの助けや緊急の助けより優先することはありません。

住んでいる地域で使える支援

お住まいの国の危機時の連絡先は、この章の最後にあります。

この章に出てくる言葉

この章が実際に使う言葉だけです。用語集の全体は、全24章の一冊のほうにあります。

いつでも使える答え (このProgramの逃げ道) – どのページでも使える5つの答えです。まだわからない、答えたくない、ここに書くことはない、これは書かずに置く、これは専門家と話したい。これは空欄ではなく、本当の答えです。埋めるために書いたページより、本当のことが3行だけ書いてあるページのほうが価値があります。

基本のルート – 章のひととおりの形です。ふつうの日に使うほうです。

このページの状態 – 章の最後で、そのページがどこまで来たかを書く行です。3つあります。**使える状態**（誰かを待たずに書けたことがある）、**情報待ち**（次の一步に、まだ手元にない数字・日付・電話番号が要る。止まっているのであって、失敗ではない）、**これは書かずに置く**（書かないと決めた。これは終わった決定であって、空白ではない）。

力が出ない日のルート – 同じ章の短いほうの形です。これがあるのは、しんどい週に終わられた短いルートのほうが、調子のいい週を待って飛ばした章より価値があるからです。出てくるのは、質の落ちた答えではありません。小さい答えです。

ルート－助けを得るための道すじ。必要になる前に書いておきます。このProgramは3つを意図的に分けています。早い段階の助け、急ぎの専門的な助け、そして差し迫った危険があるとき。行き先が違い、電話番号も違います。これを混ぜてしまうと、いちばん大事な場面でプランが使えなくなります。

この章が役に立ったなら

24回のうちの1回が、いま終わりました。ほかの章も同じ書き方で、同じように無料で、同じものを組み立てていきます。調子の悪い日に誰かに手渡せるプランです。

全24章を一冊にまとめたものには、章どうしのつながりを示す地図と、用語集の全体が入っています。 bipolarclarity.com/ja/workbook

メールアドレスもアカウントも要らず、有料版ありません。1章ずつのほうがよければ、それでも構いません。どのレッスンにも、その章がついています。

これを無料で続けられている理由

あなたはこの冊子にお金を払っていませんし、受け取るためにメールアドレスを求められてもいません。有料版もプレミアム版ありません。これは意図してそうしています。私は自分の心理教育に自分で払いました。Bipolar Clarityがあるのは、まさにそのためです。住んでいる場所と収入で、自分の病気について誰かに説明してもらえるかどうかが決まってははいけません。

その代わり、この企画はたったひとつのことに支えられています。人に見つけてもらえるかどうかです。

役に立ったのなら、助けになることが3つあります。どれも無料です。

チャンネルを登録する。 小さなチャンネルでは、登録者数と視聴時間が、次に午前2時に何かを検索する人へ YouTube がこのレッスンを見せるかどうかを決めます。その人は、この冊子に最初にたどり着くわけではありません。動画にたどり着くか、何にもたどり着かないかです。

本当に思い浮かんだ、具体的な誰か一人に渡す。 診断を受けている人、その人を大切に思っている人、パンフレットを1枚渡されてそれきりだった人。これは、良い医者の名前が伝わるのと同じ伝わり方をします。誰かが誰かに話す。それは、みんなが素通りする投稿よりうまくいきます。

専門家に、これがあると伝える。 診療所、当事者の集まり、患者会、3週間後に会う精神科医。無料で、15言語で、登録も要らないものを手渡せます。そういうものを手元に持っている人は、ほとんどいません。

ひとつだけ、お願いしないことがあります。あなたの書いた答えです。あなたが埋めたページは、あなたのものです。冊子をすすめることと、自分のことを話すことは別の決定です。ここでお願いしているのは、前者だけです。

すべては bipolarclarity.com/ja/support にあります。

ここまで来てくれて、ありがとうございました。自分の病気について24章を進むのは、小さなことではありません。

— René, Bipolar Clarity



あなたと、まわりの人のために

プランはもうあります。ほかに誰が使い方を知っていますか？

この冊子は、自分に起きていることを理解し、エピソードの兆しに気づき、必要になる前にプランを持つためのものです。でも、そのプランの中で生きているのはあなた一人ではありません。大切に思ってくれる人たちは気づいています。眠る時間が減った、話すのが速くなった、口数が減った。けれど、どうすればいいのかをほとんど誰も教わっていません。だから見張るか、言い争うか、黙っているのです。



2026年11月、**Bipolar Support Roadmap**を公開します。家族、パートナー、友人のためのプログラムです。

家庭で変わりうること

いまは、よく	Roadmapがあれば
「薬、飲んだ？」と一日に三回。	治療は 主導権を奪わず に手助けし、方法はあなたと決めます。
一晩眠れないだけで全員が警戒する...あるいは手遅れになるまで誰も気づかない。	ただの不調の日と 警告サイン を見分け、最初にすることを知っています。
危機のとき、みんなが手探り。	周囲が 必要になる前にクライシスプラン をつくります。この冊子に書くルートと並べて使えます。
言い合いがエスカレートする。	会話を いつ中断するか 、そしてどう戻るかを知っています。

あなた次第

次のページを渡すかどうかは自由です。誰に、いつ、渡すかどうか。あなたが書いたことは何も載っていません。Roadmapは、あなたを見張るよう求めません。踏み込む前にたずね、「いいえ」を答えとして受けとめることを教えます。

十四か月、私は自分の病気を教わる部屋にいました。一緒に暮らす人たちには、そんな部屋はありませんでした。これは、彼らのためにあってほしかった部屋です。

— René

ここに書いたことを伝える必要は？

ありません。Roadmapには不要です。

費用はかかりますか？

いいえ。このプログラム同様、無料です。有料版もアカウントもありません。

→ 次のページは切り取るか転送を。その人たちのためのものです。

双極性障害のある人を支えるあなたへ

あなたを大切に思う人が、自分の安定を守るプログラムに取り組んでいて、あなたのことを思い浮かべました。あなたは気づいています。でも、どうすればいいのか誰にも教わっていない。そのためにあるのが Bipolar Support Roadmap です。

何の助けになるか

- **目にしていることを理解する。**一つひとつの行動を見張らずに。
- **主導権を奪わずに手助けする：**治療、睡眠、アルコールや大麻について。
- **エピソードが始まりかけているかもしれないと気づく。**そして、最初にすること。
- **対立しているときに話す。**そして、言い合いをいつ中断するか。
- **必要になる前につくるクライシスプラン。**2つのルートで。
- **境界線、子ども、信頼の立て直し。**
- **自分自身を大切にする。**支え続けられるように。

学ぶことは本当に役に立つのですか？

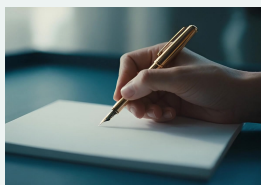
バルセロナのランダム化試験で、双極性障害のある人の家族が、家族だけで12回のグループセッションに参加しました。本人は参加していません。追加のセッションを受けなかった家族と比べ、試験期間中に新たなエピソードが起きた人は少なく、主に躁と軽躁のエピソードが少なくなりました。

¹Roadmapはその試験ではありません。同じ考えにもとづいています。家にいる人が知っていることが大切だ、という考えです。

¹ Reinares M, et al. *Bipolar Disorders* 2008;10(4): 511-519.

19回のレッスン

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 1 大切な人が双極性障害と診断されたら：これからどうする？ | 10 双極性障害のうつと混合状態：気づいておきたいこと |
| 2 双極性障害の人を支える：本当の役割は何か | 11 双極性障害のエピソードが始まりかけているかも：何をすべきか |
| 3 双極性障害の行動を理解する：本当にわかることは何か | 12 双極性障害の人と対立したとき：どう話せばいいか |
| 4 双極性障害のエピソードは、支える側のせい？ | 13 双極性障害の躁状態：対立を深めずに応じるには |
| 5 双極性障害の治療を手助けする：主導権を奪わずに | 14 双極性障害のうつ状態にある人を手助けするには |
| 6 双極性障害と睡眠：主導権を奪わずに手助けするには | 15 双極性障害のクライシスプラン：必要になる前につくる |
| 7 双極性障害の警告サイン？それともただ調子の悪い日？ | 16 双極性障害、境界線、子ども：どこで線を引くか |
| 8 双極性障害とアルコール・大麻：どう手助けできるか | 17 双極性障害で家族に負担がかかる時：何から始めるか |
| 9 双極性障害の躁と軽躁：身近な人が気づきうる初期サイン | 18 双極性障害のエピソードのあと、信頼を取り戻すには |
| | 19 双極性障害の人を支える：自分を見失わずに |



2026年11月公開。登録すれば、初日にお知らせします。

これを渡すのは...



bipolarclarity.com/ja/family

治療でも、危機対応サービスでもありません。いまその人の安全が心配なら：bipolarclarity.com/ja/gethelp。各国の危機相談窓口は、この冊子の最後のページにも載っています。

差し迫った危険がある場合

今すぐ地域の緊急通報番号に電話してください（日本では、救急・消防は119、事件や身の危険は110）。

国別の危機相談窓口

国・地域	電話番号
アルジェリア	確認できる全国規模の危機ホットラインはありません－緊急時は14（救急）または17（警察）に電話；ホットラインを探すにはfindahelpline.comをご覧ください。
アルゼンチン	135（ブエノスアイレス）または 0800 345 1435 に電話－Centro de Asistencia al Suicida。
オーストラリア	13 11 14 に電話－Lifeline（24時間）。
バーレーン	確認できる全国規模の危機ホットラインはありません－緊急時は999に電話；ホットラインを探すにはfindahelpline.comをご覧ください。
ベルギー	1813 に電話－Zelfmoordlijn 1813（24時間）。
ブラジル	188 に電話－CVV, Centro de Valorização da Vida（24時間）。
チリ	*4141 に電話（24時間）。
中国本土	12356 に電話－全国心理援助热线（National Psychological Assistance Hotline）（毎日、時間は省により異なり、最低18時間/日）。
デンマーク	70 201 201 に電話－Livslinien。
エジプト	0800 888 0700 に電話－保健人口省メンタルヘルスホットライン（24時間）。
フィンランド	09 2525 0111 に電話－MIELI（24時間）・English 09 2525 0116。
フランス	3114 に電話－Numéro national de prévention du suicide（24時間）。
ドイツ	0800 111 0 111 に電話－Telefonseelsorge（24時間）。オーストリア 142・スイス 143。
香港	2896 0000 に電話－The Samaritan Befrienders Hong Kong（24時間、広東語）；多言語対応は2389 2222－The Samaritans（24時間）。
インド	14416 または 1800-89-14416 に電話－Tele-MANAS（24時間・20言語）。
イラク	確認できる全国規模の危機ホットラインはありません－緊急時は122（救急）または104（警察）に電話；ホットラインを探すにはfindahelpline.comをご覧ください。
イスラエル	1201 に電話－ERAN, Emotional First Aid（24時間）。
イタリア	02 2327 2327 に電話－Telefono Amico Italia；緊急時は 112。
日本	0120-279-338 に電話－よりそいホットライン（24時間）。
ヨルダン	079 544 0416 に電話－JCPA Suicide & Crisis Line（24時間）；緊急時は911。
クウェート	確認できる全国規模の危機ホットラインはありません－緊急時は112に電話；ホットラインを探すにはfindahelpline.comをご覧ください。
レバノン	1564 に電話－Embrace Lifeline, National Lifeline（24時間、アラビア語・英語・フランス語）。
メキシコ	800 911 2000 に電話－Línea de la Vida（24時間）。
モロッコ	確認できる全国規模の危機ホットラインはありません－緊急時は15（救急）または19（警察）に電話；ホットラインを探すにはfindahelpline.comをご覧ください。

国・地域	電話番号
オランダ	0800-0113 に電話 – 113 Zelfmoordpreventie（24時間）・113。
ニュージーランド	1737 に電話またはテキスト（24時間）・Lifeline 0800 543 354。
ノルウェー	116 123 に電話 – Mental Helse（24時間）。
オマーン	確認できる全国規模の危機ホットラインはありません – 緊急時は9999に電話；ホットラインを探すにはfindahelpline.comをご覧ください。
ポーランド	116 123 に電話 – Telefon Zaufania dla Osób Dorosłych w Kryzysie Emocjonalnym – 対応時間は116sos.plを参照。
ポルトガル	808 24 24 24 に電話 – SNS 24。
カタール	919 に電話 – AMAN Centre, Protection and Social Rehabilitation Centre（24時間）。
ロシア	確認できる全国規模の危機ホットラインはありません – 緊急時は112に電話；ホットラインを探すにはfindahelpline.comをご覧ください。
サウジアラビア	920033360 に電話 – National Center for Mental Health Promotion 心理サポートホットライン（24時間ではなく、日中の決まった時間帯）。
シンガポール	1771 に電話 – national mindline（24時間）・SOS 1767。
南アフリカ	0800 567 567 に電話 – SADAG。
韓国	109 に電話 – 자살예방 상담전화（24時間）。
スペイン	024 に電話 – Línea de atención a la conducta suicida（24時間）。
スウェーデン	90 101 に電話 – Självordslinjen (Mind)。
台湾	1925 に電話 – 安心專線 (Anxin Hotline)、衛生福利部（24時間）。
チュニジア	8010 3666 に電話 – Association Tunisienne de Prévention du Suicide (ATPS)。
アラブ首長国連邦	800-HOPE (800 4673) に電話 – National Mental Support Line, MOHAP（毎日8時-午後8時）。
イギリス・アイルランド	116 123 に電話 – Samaritans（24時間）。イギリスでは SHOUT to 85258 にテキストすることもできます。
アメリカ・カナダ	988 に電話またはテキスト – Suicide & Crisis Lifeline（24時間）。
ヨーロッパ（各国）	緊急時は 112 に電話。

電話番号は変わることがあり、ここに載っていない国も多くあります。あなたの国がない場合は、findahelpline.comで、確認済みの地域の相談窓口をすぐに探せます。

家のなかで安全でないとき

以下は、家のなかでの暴力や虐待のための窓口です – 配偶者やパートナー、家族、同居している人からのもの。病気は行動の説明にはなっても、決してその言い訳にはなりません。何かを決めていなくても、電話して構いません。

国・地域	電話番号
アルジェリア	0560 100 105 に電話 – Réseau Wassila-AVIFE（日曜-木曜、日中の時間帯）。

国・地域	電話番号
アルゼンチン	144 に電話 – Línea 144 (24時間)。
オーストラリア	1800 737 732 に電話 – 1800RESPECT (24時間)。SMSは 0458 737 732。
バーレーン	80001488 に電話 – Aisha Yateem Family Counseling Centre (対応時間は未確認)。
ベルギー	1712 に電話 – Hulplijn 1712 (オランダ語・平日)・0800 30 030 に電話 – Écoute Violences Conjugales (フランス語)。
ブラジル	180 に電話 – Ligue 180, Central de Atendimento à Mulher (24時間)。
チリ	1455 に電話 – Fono Orientación, SernamEG (24時間)。
中国本土	12338 に電話 (お住まいの地域の市外局番を付けて発信) – All-China Women's Federation Rights Protection Hotline (24時間)。
デンマーク	1888 に電話 – Lev Uden Vold (24時間)。
エジプト	15115 に電話 – National Council for Women, Complaints Office (24時間)。
フィンランド	116 016 に電話 – Nollalinja (24時間)。旧番号 080 005 005 も使えます。
フランス	3919 に電話 – Violences Femmes Info (24時間)。通話は電話料金の明細に残りません。
ドイツ	116 016 に電話 – Hilfetelefon Gewalt gegen Frauen (24時間)。オーストリア 0800 222 555・スイス 142。
香港	2522 0434 に電話 – Harmony House 24-hour Woman Hotline (24時間)。
インド	181 に電話 – Women Helpline (24時間)。
イラク	確認できる全国規模のDVホットラインはありません – 緊急時は122 (救急) または104 (警察) に電話；ホットラインを探すにはfindahelpline.comをご覧ください。
イスラエル	118 に電話 – 全国DVホットライン (24時間、ヘブライ語・アラビア語・英語・ロシア語・アムハラ語)。
イタリア	1522 に電話 – 暴力・ストーカー相談窓口 (24時間)。
日本	0120-279-889 に電話 – DV相談+ (プラス) (24時間)。
ヨルダン	110 に電話 – National Family Protection Hotline, Family Protection Department (24時間)。
クウェート	確認できる全国規模のDVホットラインはありません – 緊急時は112に電話；ホットラインを探すにはfindahelpline.comをご覧ください。
レバノン	03-018019 に電話 – KAFA Helpline (24時間、アラビア語・英語)。
メキシコ	079 に電話 (オプション1) – Línea de las Mujeres (24時間)。
モロッコ	8350 に電話 – Union Nationale des Femmes Marocaines (UNFM)、“Koulounamaak” グリーンライン (アラビア語・フランス語；対応時間は未確認)。
オランダ	0800-2000 に電話 – Veilig Thuis (24時間)。
ニュージーランド	0800 456 450 に電話 – Are You OK (24時間)・Women's Refuge 0800 733 843。
ノルウェー	116 006 に電話 – VO-linjen (24時間)。
オマーン	確認できる全国規模のDVホットラインはありません – 緊急時は9999に電話；ホットラインを探すにはfindahelpline.comをご覧ください。
ポーランド	800 120 002 に電話 – Niebieska Linia, Blue Line (24時間)；英語は月曜午後6-10時、ロシア語は火曜午後6-10時。
ポルトガル	800 202 148 に電話 – Linha de Informação às Vítimas de Violência Doméstica (24時間)。SMSは 3060。

国・地域	電話番号
カタール	919 に電話 – AMAN Centre, Protection and Social Rehabilitation Centre（24時間）。
ロシア	8-800-7000-600 に電話 – ANNA Center, National Center for the Prevention of Violence（午前9時–午後9時）。
サウジアラビア	1919 に電話 – Domestic Violence Reporting Center, Ministry of Human Resources and Social Development（24時間）。
シンガポール	1800-777-0000 に電話 – National Anti-Violence and Sexual Harassment Helpline（24時間）。
南アフリカ	0800 428 428 に電話 – GBV Command Centre（24時間）。
韓国	1366 に電話 – 여성긴급전화 1366（24時間）。
スペイン	016 に電話（24時間）。通話は電話料金の明細に残りません・WhatsApp 600 000 016。
スウェーデン	116 016 に電話 – Kvinnofridslinjen（24時間）。旧番号 020-50 50 50 も使えます。
台湾	113 に電話 – 保護專線113（DV・性暴力・虐待対応、24時間、多言語対応）。
チュニジア	1899 に電話 – Ligne Verte 1899, National Observatory to Combat Violence Against Women（24時間、アラビア語・フランス語）。
アラブ首長国連邦	800111 に電話 – Dubai Foundation for Women and Children（DFWAC）（24時間）。
イギリス・アイルランド	イギリス 0808 2000 247 – National Domestic Abuse Helpline（24時間）・アイルランド 1800 341 900 – Women's Aid（24時間）。
アメリカ・カナダ	アメリカは 1-800-799-7233 に電話 – National Domestic Violence Hotline（24時間）。88788 に START と送信することもできます。カナダは sheltersafe.ca で最寄りのシェルターを探せます。
ヨーロッパ（各国）	緊急時は 112 に電話。

電話番号は変わることがあり、ここに載っていない国も多くあります。あなたの国がない場合は、NO MORE Global Directory に190か国以上の窓口がまとまっています。差し迫った危険があるときは、まずお住まいの地域の緊急番号にかけてください。

世界のどこにいても

あなたの国の、無料の相談窓口をこちらで探せます：findahelpline.com または befrienders.org。また、信頼できる人に今感じていることを伝え、一緒にいてほしいと頼むこともできます。

緊急ではないけれど、つらい場合

担当医やケアチームに連絡するか、できるだけ早い予約を取りましょう。危機対応プランや安全のための連絡先があるなら、今が使うときです。次の1時間を使い切るだけで十分です。今日すべてを解決しなくて大丈夫です。

Bipolar Clarityは教育目的のコンテンツであり、緊急支援や個別の医療上の助言を提供することはできません。緊急の支援には、上記のリソースをご利用ください。